

福井連協たより

JP労組福井連協退職者の会

発行責任者 近藤源一郎
編集責任者 塚本 隆

福井連協退職者の会「第7回総会」

〈2021年7月24日(土) 10時～ 於：アオッサ601号室〉

2021年度活動計画（案）



1. はじめに

一向に終息しない新型コロナウイルス感染状況は、変異株が蔓延するなど2年目を迎えました。政府は緊急事態宣言やまん延防止等特別措置の指定を都府県では3回目の発令となるなど、また福井県では県独自の緊急事態宣言を発令し5月20日に解除されましたが、オリンピック・パラリンピックを前後に第5波が心配され引き続き、三密防止、マスク、手洗い励行は感染防止の基本動作になっています。

高齢者のコロナワクチン接種は、7月までには終了する予定で進められていますが一部では8月にずれ込み地域もあるようですが、16歳以上の接種が終わるまでは感染防止に努めなければなりません。

そのような中、JP労組退職者の会中央総会は7月27日に延期になり、地方総会は7月17日北陸三県のコロナ感染状況を判断して「書面総会」とすることを決めましたが、福井連協は幹事会役員および会員のみなさんのご理解のもと予定どおり開催する方向で進めています。

第7回総会は役員改選がなく従来どおりの活動期間に対する方針を決める総会となります。第6回総会で決めていただきました活動方針・計画の多くが未達であることから、今年度の活動方針案は前年度の活動方針を一部修正して踏襲することにします。

その基本は、活動期間は2021年7月から2022年6月までの1年間とし①会員の拡大は5%を目指す、②延期した『おもてなしイベント』を2021年秋に実施する、③支部役員の育成強化をはかる、④全支部に連協女性幹事が誕生する土壌を作る——以上4点として、以下具体的な行動展開を提案します。

2. 具体的な行動

(1) 会員拡大5%増について

現役社員の定年が60歳から65歳になりました。一般的には年金受給年齢の繰り下げ、年金額の引き下げ等も想定されるので、年金が満額受給になるまで働きたいとの声を聞きます。

このことから、新加入が今まで以上に厳しくなるので、目標を5%に修正します。その一方、協力会員の目標は設定しないがJP労組の協力を得ながら拡大します。

ア. 各支部の目標は2021年6月1日の会員数を基にして提案。

イ. 拡大期間は2021年9月から第8回総会までとする。

ウ. 拡大交付金（1,000円）は2021年3月をもって廃止する。

エ. 各支部は拡大目標の中に女性会員の拡大数を目標に掲げる。

オ. 全支部拡大ゼロをなくし純増を目指す。

カ. 支部別拡大目標

支部名	現会員数	拡大目標	女性拡大目安
福井東部	41人	2人	1人
福井	60人	3人	1人
福井中部	93人	5人	2人
福井南部	70人	4人	1人
福井連協合計	264人	14人	5人

(2) 親睦と交流について

延期した福井南部支部の『おもてなしイベント』「三方の絶景と鰻」は高齢者ワクチン接種終了を見込み、2021年10月20日（水）に開催することを再々提案します。

従って、2022年の『おもてなしイベント』開催支部は福井中部支部に要請します。実施時期等は福井中部支部に一任します。

ア. 「おもてなしイベント」の交付金の実施

福井中部支部への交付金は支部と相談したうえで10,000円を年度内に交付します。ただし、『支部イベント』の交付金は廃止します。

イ. 連協から会員への周知は会報で行います。各支部は会員、家族に向け声をかけて参加者を募って下さい。ただし、各支部10人を上限とします。

(3) 支部役員の育成強化について

2021年度も「出前幹事会」を実施します。目的は会員拡大や活動の苦勞を共有化し情報交換を行うことです。

今年度は三役にこだわらず支部推薦者を相互に派遣します。

ア. 支部幹事会 同行計画（案）

支部名	派遣支部	派遣者
福井東部支部	福井南部支部	連協幹事会で決める
福井支部	福井中部支部	
福井中部支部	福井支部	
福井南部支部	福井東部支部	

(ア) 連協派遣は三役の中から一人とする。

(イ) 派遣者には交通費を支給。

(ウ) 2021年の10月～2022年5月までに実施する。

イ. 連協拡大幹事会の開催について

第26回参議院議員選挙の扱いについて、必要とあれば拡大幹事会を開催して協議します。

(4) 女性活躍について

2020年度の女性役員は連協幹事会に3人、会計監査に2人が就任しており女性役員参加率は33%（5人）です。2022年度の役員改選期には女性役員就任率を40%になるよう育成に努めます。

女性が参加しやすい環境作りを連協幹事会の議題として取り上げます。支部で実践できるよう出前幹事会等で情報交換して女性会員の拡大に努めます。

(5) 組織慶弔会計の在り方について

全国的に2025年前後には喜寿のお祝い金支払いがピークになります。解決策として慶弔会計の在り方と見直し、2019年10月開催の第5回中央総会で提案されました。2020年2月、連協は拡大幹事会を開催して意見要望を取りまとめて地方は中央に具申しました。

中央幹事会は地方からの要望を取りまとめて100円値上げ案を見送りました。しかし、2025年問題は避けて通ることができないことから2021年度からは連協一般会計から100円×会費納入数を拠出した「組織慶弔安定化会計」を新設して地方において管理することとなりました。

現在連協で管理している「組織慶弔会計」はそのまましつつ、不足が生じた場合は、

地方管理の「組織慶弔安定会計」から補填されることとなります。従って、慶弔金の支給と事務処理についてはこれまでどおりとします。

ただし、2021年4月1日以降の米寿お祝いは、JP労組の経費負担で中央退職者の会会長と現役中央執行委員長連名でカタログギフト冊子が郵送されることになりました。

従って、今期の連協慶弔会計は米寿の科目を削除して提案します。

(6) 政治活動について

衆議院議員の任期満了は2021年10月ですが、オリンピック後に衆議院解散総選挙もささやかれています。いずれにしても、選挙区1区、2区に立憲民主党の候補者が確定されていますので、JP労組北陸地方本部と歩調を合わせて取り組んでいきます。

2022年7月の第26回参議院選挙では比例区の「なんば奨二氏」が3期目の改選となりますが、後進に道を譲るとして「しば慎一」中央副執行委員長が立候補することが機関決定されました。必勝に向け、衆議院総選挙後に会員一人3人の後援会入会活動を展開します。

詳細な活動については、連協幹事会で明らかにします。

(7) 福井県退職者連合について

恒例の親睦旅行は本年もコロナ禍で中断です。その他の研修も中断となっています。マレットゴルフは10月頃に実施され、11月の総会は開催することになっています。動員要請等には連協幹事会で対応します。

